

KOYO ITALIA S.R.L.

— 光洋イタリア, KIT —

1. 会社概要

社名	KOYO ITALIA S.R.L.
所在地	イタリア ミラノ
設立	1990年
従業員	9名(2005年12月)
業種	転がり軸受と関連製品の販売



国でした。一つの大きな国として統一されたのは1861年のことで、実は統一国家としての歴史はまだそれほど長くはありません。ですから地元のイタリア人の中には、国を質問された時に出身地方や故郷を言う方がいるかも知れません。

半島の国イタリアは国土が南北に長く、その多くが山間部です。日本の約80%の広さの国土を持ち、おおまかには北側の大陸部、南側の半島部、点在する島々、の三つに。春の草花、夏の海辺、秋の葡萄畑に冬のスキーなど、日本のように四季折々の魅力にあふれています。日本と異なるのは緯度の高さで、このため特に真夏は午後9時頃まで外が明るいことも。つられて夜更かしをして翌朝寝坊しないように気をつけたほうが良いでしょう。



ドゥオーモ前広場

2. 地域の紹介

2.1 はじめに

チャオ！ 陽気で愛嬌のあるイタリア人は、お店に入る時や知人と会った時に気楽にこう挨拶を交わします。でもその早口で大きな声は、慣れない日本人から見るとケンカをしているように聞こえることも。この国でもジェイテクト（以下JTEKTと称す）の仲間が働いていますが、まず初めにこの国を簡単に紹介し、次にJTEKTの概要を紹介します。

2.2 歴史と地理

誰もが知る「古代ローマ帝国」。その歴史は非常に古く、紀元前を何世紀も遡ります。その後、多くの都市国家による群雄割拠の時代に入り、時には小さな町でさえ独立

2.3 観光と食事

世界の文化財の実に40%を持つといわれるイタリア。誰もが認める一大観光立国でもあります。ローマやポンペイの古代遺跡群、花の都フィレンツェに輝くルネサンス時代の絵画や建築物、広がる運河と行き交う水上コンドラで有名な水の都ヴェネツィア、新緑に白い雪が映える風光明媚な北イタリアの山間部に、海水浴やキャンプでにぎわう夏の海岸線と、その魅力を数え上げたら切りがありません。何よりもその景色が色彩豊かで、目の保養にはもってこいです。

そしてイタリアでは見事に「食の文化」も発達。これを抜きにしてはイタリアを語れません。お店に入るとまず「お水はガス入り？ ガスなし？」と質問されます。日

本人には馴染みのないガス入りですが、しっかりした味付けの料理や揚げ物料理との相性が良いことに気付く方もおられるでしょう。もちろんワインの名産国でもあり、皆さんの好みで上手に選ばれます。

さて、遠く日本でも良く知られる二大イタリア料理といえば「ピッツァ」に「スパゲッティ」でしょうか？モツアレチーズをのせた本場のピッツァは非常に美味しく、何度食べても飽きません。もちろんスパゲッティも地元の人々は硬めのアルデンテにこだわります。スパイスを上手に用いた肉料理や、オリーブオイルを用いたシーフード等々、実はここからがメインの始まりなのですが、日本の方には少し量が多くて前菜でお腹一杯になる方も多いようです。そして食後にはカフェ。イタリア人は一日に何度もカフェを飲みますが、ここでカフェといえばエスプレッソを指します。慣れないと濃く苦く感じますが、豆の香りと味を楽しむことができます。料理の後にはもってこいです。

2.4 日本とのつながり

古くはマルコポーロの「東方見聞録」などが有名でしょうか？しかし今を生きるイタリア人にとっては「お寿司」や「アニメ」の方が身近なのかもしれません。ここでは「お寿司屋さん」をよく見かけますし、テレビをつければ日本のアニメを見かけることも。かわって日本人には、何よりも最新のファッションやデザインなどが有名ですね。KITの事務所のあるミラノはこれらの発信源となっています。街のシンボルでもある「ドゥオーモ」、特にその彫刻芸術は観光客や地元のイタリア人をいつも魅了しています。



ドゥオーモ屋上

3. 会社の紹介

KITは1990年に設立されました。その狙いはイタリアに光洋精工(株)の直轄の拠点を設けイタリア市場で軸受の販売を拡大することであり、その市場規模はヨーロッパでは3番目の大きさです。高品質製品の提供や顧客サービスの向上などにより自動車やその他の産業分野において軸受製品供給の主要大手五社の一社になることが出来ました。

さらに1996年にヨーロッパ光洋(Europa-Koyo B.V. EKBV)が販売会社のMCI社(Marzorati Componenti Industriali S.P.A.)に資本参加したことにより、より小口の商談にも対応していくことにより、イタリア市場における成長を確かなものにしました。今日、KITは世界的に有名な企業グループを含めて自動車関連、その他産業分野、および市販向けで広くビジネス展開をしております。

KITの販売する全ての商品は、倉庫・配送機能を有するジェイテクト欧州軸受統括センター(JTEKT European Bearing Central Office, 以下EBCOと称す)によりオランダのアルメーレから顧客に直送されています。

2003年からはEBCOやヨーロッパテクニカルセンター(ETEC)と連携しながら技術の開発にも取り組み、多くの顧客の多様なニーズにも対応しながら顧客との信頼関係の構築に努めております。

新会社JTEKTとしての発足に伴ないKIT全員、新しい気持ちで新会社のもつ幅広い高度な技術を背景に、さらに次の飛躍を目指して行きたいと決意を新たにしております。



KITメンバー

(KIT Luca Pipinato and Kitao Hanyu)